

いわき市立桶売小学校「学校だより」



令和2年10月9日(金) 第28号 (発行者 校長 遠藤 修)

＜教育目標＞

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

＜校章の由来＞

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



「沢尻の大ヒノキ」価値再発見事業

国指定天然記念物「沢尻の大ヒノキ」を学ぼう



10月5日(月)、川前町振興対策協議会主催の小中学生を対象にした「沢尻の大ヒノキ」の学習会に参加しました。

この学習会は、「沢尻の大ヒノキ価値再発見事業」の一環として、大ヒノキの歴史・文化的価値、樹の現在の状況について専門家の先生からお話を聞き、その価値を再発見することを目的に開催されました。地域の宝を学ぶことで郷土に誇りを持ち、将来、まちおこしの核となる人材の育成につなげたいとの思いが込められています。

学習会では、樹木医である鈴木俊行先生から、スライドに沿って大ヒノキが福島県にある国指定の天然記念物の4本のうちの1本であることや、世界一の「サワラ」の樹であること、周囲の地形・水脈の変化によって樹勢が弱っていることなど、大変興味深いお話をさせていただきました。

また、お話の後、10.22mの幹回りを人の輪で表したり、ヒノキとサワラの違いについて実物を比較したりして体験的に学べたことも子ども達にとっては非常に良い経験でした。

この「沢尻の大ヒノキ価値再発見事業」ですが、今後、地域の方々を対象に座学やワークショップなど計7回にわたり開催予定だそうです。お時間がある方は是非参加されてはいかがでしょうか。身近なお宝「沢尻の大ヒノキ」について新たな発見があること請け合いです。



互見授業

第4学年 国語

～中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう～
「世界にはほこる和紙」

9日(金)、4学年の互見授業を行い、川前地区の小中学校の先生方に国語の授業を参観いただきました。この「互見授業(ごけんじゅぎょう)」ですが、授業を相互に参観しあうことで、授業力向上と校種間の理解を深めることをねらいとしています。

川前地区では、児童・生徒間の交流を盛んに行っています。教職員間においても、授業を通じて互いにより刺激が得られるよう、繋がりを強めていきたいと思ひます。



台風接近に伴う注意のお願い

強い台風14号は、暴風域を伴いながらゆっくり北東に進んでおり、10日(土)から11日(日)にかけて東日本に接近する模様です。その影響により、いわき市においても、10日(土)から11日(日)午前にかけては、雨が降り続くなどの予報が出ており、河川の増水や低い土地の浸水、土砂災害なども想定されるところです。

各家庭におかれましては、不要不急の外出を控えるなど、安全確保にご留意ください。

尚、月曜日には通過し、登校に支障がないと思われていますが、気象警報が発令の際は個別登校の措置をお願いいたします。



リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)

0.089 μSV/h 10/9 12:40

(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)

<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230

Fax 0246-84-2240

在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名

<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

